

トルコのバレーボールに企業も注目

経済成長著しい成長国*では、スポーツ振興策が強化される傾向にあることは、ヨミトクNo.64でもお伝えしました。

成長国のひとつであるトルコも同様で、特に近年では欧州やアジアで活躍する一流選手の獲得を積極的に進めているバレーボールのプロチームに注目が集まっています。例えば、ロンドン五輪で銅メダルを獲得した日本からも、佐野優子選手や木村沙織選手がトルコの1部リーグへ移籍しました。世界最高水準と言われたイタリアをしのぐ年俸が提示されるケースも増えており、トルコがいかに経済力をつけているかがうかがえます。実際に成果は出ており、ここ数年は「欧州チャンピオンズリーグ」において、トルコのチームが上位3位以内の常連となっています。

バレーボール人気の高まりとともに、試合チケットの売上げやテレビ放映権料なども上昇しており、企業からの注目度も高まっています。ダイキン工業のトルコ法人は、日本企業として初めて佐野選手の所属する「ガラタサライ」のスポンサーとなりました。同社はこうしたスポーツのスポンサーによるPRを積極的に展開するなど、2011年10月時点でトルコ国内で12%だった空調機市場のシェアを、2015年までに20%に拡大させることを目指しています。（出所：INVEST IN TURKEY）

盛り上がりを見せるトルコのバレーボールには、トルコ国民のみならず、企業からの期待も高まっています。

*「成長国」とは、ゴールドマン・サックスが提唱する今後世界経済の成長を牽引するであろう8カ国(ブラジル、ロシア、インド、中国、韓国、トルコ、メキシコ、インドネシア)を指す。

直近の欧州チャンピオンズリーグ 結果

	2010-2011年	2011-2012年	2012-2013年
優勝	ワクフバンク・テュルクテレコム (トルコ)	フェネルバフチェ・ユニバーサル (トルコ)	ワクフバンク・テュルクテレコム (トルコ)
準優勝	ラビタ・バクー (アゼルバイジャン)	RCカンヌ (フランス)	ラビタ・バクー (アゼルバイジャン)
3位	フェネルバフチェ・ユニバーサル (トルコ)	ディナモ・カザン (ロシア)	ヤママイ・ブスト・アルシーツィオ (イタリア)
4位	スカボリーニ・ペーザロ (イタリア)	GSOヴィッラ・コルテーゼ (イタリア)	ガラタサライ・ダイキン (トルコ)

※チーム名は現在のものを使用。
(出所) 欧州バレーボール連盟

(単位：兆円) ダイキンの売上推移(2001～2012年)



成長国について詳しくはこちらから www.gsam.co.jp

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保証するものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市場の見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合もあります。個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、あくまで例示をもって理解を深めていただくためのものであり、当該個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等を推奨あるいは勧誘するものでもありません。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(Ⅰ)複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは(Ⅱ)再配布することを禁じます。＜審査番号：94606.OTHER.MED.OTU＞
© 2012 Goldman Sachs. All rights reserved.